

U.S. Indicators

米国 高い水準に上昇で景気堅調を示す(16年11月ISM非製造業・総合景気指数)

2016年12月6日 (火)

～活動指数、新規受注に加えて雇用も高水準～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

ISM非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	輸入	在庫変動
16/01	53.5	53.9	56.5	52.1	51.5	52.0	46.4	45.5	46.0	51.5
16/02	53.4	57.8	55.5	49.7	50.5	52.0	45.5	53.5	55.5	52.5
16/03	54.5	59.8	56.7	50.3	51.0	52.0	49.1	58.5	53.0	52.5
16/04	55.7	58.8	59.9	53.0	51.0	51.5	53.4	56.5	54.0	54.0
16/05	52.9	55.1	54.2	49.7	52.5	50.0	55.6	49.0	53.5	54.0
16/06	56.5	59.5	59.9	52.7	54.0	47.5	55.5	53.0	54.0	55.5
16/07	55.5	59.3	60.3	51.4	51.0	51.0	51.9	55.5	53.0	54.0
16/08	51.4	51.8	51.4	50.7	51.5	49.5	51.8	46.5	50.5	48.0
16/09	57.1	60.3	60.0	57.2	51.0	52.0	54.0	56.5	51.0	51.5
16/10	54.8	57.7	57.7	53.1	50.5	52.0	56.6	55.5	53.0	52.0
16/11	57.2	61.7	57.0	58.2	52.0	51.0	56.3	57.0	54.0	51.5

(出所) ISM

非製造業景気指数は 57.2と前月比2.4% ポイント上昇

16年11月のISM非製造業景気指数(季節調整値)は、57.2と前月比2.4%ポイント上昇し市場予想の55.5を上回った。非製造業部門の堅調さを示す水準に回復した。ISMは、11月の57.2という水準はGDPが前期比年率で+3.3%成長していたときの水準と指摘している。総合指数の算出項目をみると、新規受注が低下した一方で、活動指数、雇用、入荷遅延が上昇した。寄与度では、新規受注が前月比▲0.18%ポイントの押し下げ寄与となったものの、雇用が前月比+1.28%ポイント、活動指数が前月比+1.00%ポイント、入荷遅延が前月比+0.33%ポイントの押し上げ寄与となった。全ての構成項目が拡大縮小の分岐点となる50を上回ったうえ、活動、新規受注、雇用は高い水準となった。

また、拡大した業種数は、全18業種中14業種(10月13業種)と増加し、過半数を上回っている。拡大した業種(下線は拡大、縮小が2カ月以上続いたことを示す)は、農林水産業、小売業、芸術・娯楽・レクリエーション、運輸・倉庫、その他サービス、企業向けサービス、建設業、金融・保険、専門・科学・技術サービス、宿泊・飲食サービス、情報産業、医療・社会支援、卸売業、鉱業。一方、縮小した業種数は2業種(10月5業種)と減少した。不動産が縮小に転じたなかで、継続して縮小している業種は、公的部門にとどまった。なお、教育サービス、公益は変わらず。

ISM総合景気指数は 米経済の緩やかな拡大 の継続を示唆

米国経済全体の景気動向を示す「ISM総合景気指数(非製造業景気指数と製造業景気指数で合成)」は、11月で56.8と10月の54.5から2.3%ポイント上昇した。10、11月平均では、55.7と7-9月期の54.3(16年4-6月期54.7、16年1-3月期53.4、15年10-12月期56.1)を小幅上回っており、10-12月の米国経済は堅調さを維持していることを示している。

ドル高や中国経済の減速傾向による需要抑制の続くもとで、雇用所得の増加や資産残

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

高の拡大等による個人消費の拡大を背景に、ISM総合景気指数は当面現状程度の高い水準で推移すると予想される。

